

農林水産省令和7年度補正予算
飲食業労働生産性向上推進緊急対策事業

飲食業 労働生産性向上支援補助金

専門家の伴走支援をととして
労働生産性向上に効果的な設備・システムを
導入する取組

上限
500万円 × 3領域

※複数領域への同時応募可能

対象経費
定額補助

1. 調理

2. 接客

3. 店舗管理

応募
受付期間

令和8年4月1日(水)～5月29日(金) 17:00

応募
対象者

中堅・中小規模の飲食店

補助対象
となる取組

「飲食店の未来を変える 自動化・省力化ガイドブック
—省力化投資促進業界行動計画—」に則した取組
※補助対象となる取組(例)は裏面をご確認ください。

対象経費

設備・機器等の導入費(リースに限る)、システム等の導入費、
技術導入費、運搬費
※本事業の実施期間中において事業実施に直接必要となる経費であって、本事業の対象として明
確に区分できるものであり、かつ証拠書類によって金額等を確認することができるもの

詳細の応募要件等については、公募要領をご確認ください。

自動化・省力化
ガイドブックは
こちら



スマートフォンの
アクセスはこちら



応募は
公募ホームページから

JMAC 飲食業労働生産性向上

検索 

<https://jmac-foods.com/news/2722/>

応募受付期間はナビダイヤルも設置予定です。
追加情報は公募ホームページをご確認ください。

 JMAC 株式会社日本能率協会コンサルティング
飲食業労働生産性向上推進緊急対策事業 事務局

事業の流れと 補助対象となる取組 (例)

事業の流れ

4月1日～5月29日

応募

審査

6月末頃～8月上旬頃

採択・交付
決定

～2月15日

事業実施・
実施報告

専門家が
伴走支援します！

効果検証まで
実施します！

補助対象となる取組 (例)

調理

下処理や調理工程を機械化・標準化する

- ▶野菜や肉のカットを自動化・高速化し、仕込み時間を短縮する
- ▶鮮度を保った長期保存により食材ロスを削減し、アイドルタイムの仕込みで作業を平準化する
- ▶焼く・蒸す・煮るなどを1台で大量に行い、調理工程を自動化・効率化する



接客

注文・配膳・会計業務をデジタル化・ロボット化し、 スタッフの移動や作業負担を減らす

- ▶お客様のスマホ等で注文・決済を行い、注文聞き取り業務を削減し、オーダーミスを防止する
- ▶料理の運搬や片付けをロボットに任せ、スタッフの負担を軽減する
- ▶会計業務を自動化し、レジ締め作業の簡素化を図る



店舗管理

データに基づいた発注・労務管理や、教育のデジタル化

- ▶在庫状況をリアルタイムで把握し、発注データを自動作成することで、過剰在庫や欠品を防ぐ
- ▶シフト作成、勤怠管理、給与計算を自動化し、店舗責任者等の事務負担を軽減する
- ▶売上や顧客データを分析し、人気メニューの把握・開発や販売戦略に役立てる
- ▶動画マニュアル（教育研修ツール）を活用することで、従業員育成に係る負荷の軽減を図る



よくあるご質問 ※詳細の応募要件等については、公募要領をご確認ください。

Q. 設備・機器等の導入は購入やレンタルでも良いですか？

A. 設備・機器等の導入はリース限定とさせていただきます。

Q. 事業開始前並びに事業終了後の経費も対象ですか？

A. 事業で導入した設備・機器・システム等の経費は事業期間内のみ全額補助対象となりますが、事業終了後は自己負担となります。また、事業開始前に導入された設備・機器・システム等の費用は対象外ですのでご注意ください。

Q. 伴走支援の専門家は自由に決めることができますか？

A. 事業期間中に伴走支援を行う専門家は、応募時に提出いただく事業計画等を踏まえ、事務局で選定・派遣します。応募者側で自由に選択することはできませんのでご了承ください。